



建築学会 2008年度大会

昨年度の活動を全国に向けて発信

M2 パンノイナッタポン



9月18~20日広島大学で、建築学会が行われました。今年もデザ研のメンバーが多く参加し、2007年に展開したプロジェクトの報告や、個人研究など、一年間の研究活動のまとめを全国に向けて発信しました。今回も研究室のメンバーは学会にたどりつくまで、広島市内、尾道、鞆の浦などで都市について楽しく研究活動を行い、19日の夜に広島市内のお好み焼き屋で報告会を行いました。学会での発表に関して、研究室のメンバー全員は予定通り無事に終え、満足できた発表になったと思われます。個人的には「学会発表」の時間の短さに悩まされましたが、発表を通じて自分が関った活動について再認識させられたことがとてもよかったです。

| 題名 | 講演者 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| <input type="checkbox"/> 地区特性に応じた都市計画道路の整備方針の再構築 喜多方市を事例として | 鈴木智香子 |
| <input type="checkbox"/> 瀬戸内における広域「港町観光」の可能性の検討 - その1 空間面からの各港町の共通性と個性の把握 - その2 空間要素を活かしたまちづくりの実態の把握 | 北村修一 山田渚 |
| <input type="checkbox"/> 地域づくりの観点からみた参詣地における「寺社風駅舎」の出現文脈 | 永瀬節治 |
| <input type="checkbox"/> 住民の意識啓蒙を目的としたのれん景観実験に関する研究 喜多方市における地域資源を活かしたまちづくりの実践その8 | 蛭灰谷愛 |
| <input type="checkbox"/> 地域資源を活用した外部空間形成手法としての「くらにわ」に関する研究 喜多方における地域資源を活かしたまちづくりの実践その9 | 平岡惟 |
| <input type="checkbox"/> 高山市大新町越中街道地区における新旧共存型歴史的市街地の街並み形成に関する研究 - その1 街並み現状と課題 - その2 都市計画道路による壁面線の後退状況と前面空間の使われ方 | 野原卓 助教 大道亮 |
| <input type="checkbox"/> 非伝統的都市祝祭における空間利用の実態に関する研究 - その1 高円寺阿波踊りを事例として - その2 大塚阿波踊りを事例として 中島伸 | 田中暁子 中島伸 |
| <input type="checkbox"/> 英国ロンドンにおける眺望景観保全施策の新展開 | 岡村佑 |
| <input type="checkbox"/> 境界空間における多主体連携促進に向けたワークショップの展開 千葉柏の葉における「まちづくり」その1 | 矢原有里 |
| <input type="checkbox"/> 「まちづくり大学」の構想とその実践 富山市八尾町におけるまちづくり支援活動に関する報告その1 | 楊 恵巨 |
| <input type="checkbox"/> 空家バンクを議論するためのシュミレーション手法の開発 富山市八尾町におけるまちづくり支援活動に関する報告その2 | パンノイナッタポン |
| <input type="checkbox"/> フランスの都市の保全的刷新手法における中間団体の活動に関する研究 パリ13区におけるアソシアションADA13について | 江口久美 |

ヨルトモ'08、中秋の名月の下で開催

M2 山田 渚

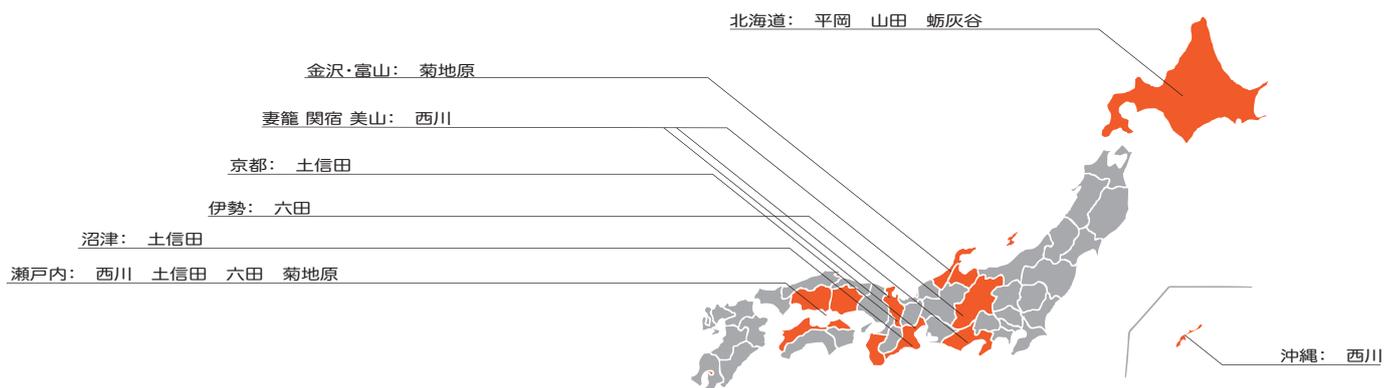
夜の鞆を楽しむイベント、その名も『ヨルトモ』が、9月13・14日の2夜、地元の秋祭りに合わせて開催されました。普段はほとんどの店舗が夕方5時過ぎには閉まってしまい、観光客もほとんど出歩かない鞆の町。『ヨルトモ』は、そんな鞆で夜の店舗営業の可能性を探ること、静かで美しい夜の魅力を観光客の方々にも知ってもらい、ゆっくりと滞在してもらうことを目的とし、我々有志鞆チームが実験的に企画しました。当日は店主の方々のご協力のもと、特別に夜10時まで延長営業。我々も、雁木(がんぎ)に腰掛けて月を眺めながら飲める、保命酒カクテルバーを即席営業しました。ホテルから浴衣を着てきたり、ちょっと時間を延ばして夕飯まで食べて帰る観光客の姿が見られ、「潮風が気持ち良かった」「夜景が綺麗だった」など、夜のそぞろ歩きを楽しんでもらえたようです。初めてということで、課題も多く見つかった今回。ぜひ次回に繋げ、鞆の新たな恒例イベントになってくれたらと思います。



▲保命酒バー「Gangiがんぎ」内装と六田店長

研究室メンバー夏の国内旅行記

8・9月、あっという間の夏休みでした。プロジェクトにまとまった時間をかけられるため、普段よりもむしろ忙しく感じる休み中ですが、それぞれに全国各地のいろいろな街を見聞してきました。



瀬戸内ドライブ旅行

text_kikuchibara

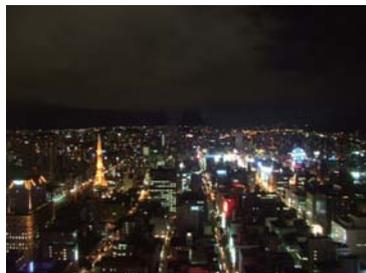
9月15日から17日の3日間、建築学会見学を利用してM1の4名でドライブ旅行に行きました。鞆から出発して尾道(街並み)→倉敷(美観地区)→瀬戸大橋→高松(うどん)→琴平(金比羅さん)→新居浜(別子銅山)→しまなみ街道→竹原(伝建)→広島(お好み焼き)と慌ただしい3日間で、あまり多くの都市を回るのは出来ませんでした。車窓から見える四国独特の山並みや瀬戸内海固有の風景などを十分堪能できた3日間でした！



北海道

text_hiraoka

9月の2日から5日まで、M2山田・蛭灰谷・平岡の3人で、北海道に行ってきました。夜の飛行機で到着し、まず見たのは札幌の夜景。キラキラした道路の光がどこまでもまっすぐに伸びているのを見て、グリッド都市を実感しました。他にも、バスツアーでまわった富良野・美瑛では一面の向日葵に埋もれてみたり、小樽で運河と倉庫を眺めたり。もちろん、ジンギスカン、海鮮丼、札幌ラーメン、スープカレー、小樽ビールなどなど、名物もしっかり味わって、とても充実した旅行でした。



京都

M1 土信田浩之

8月上旬の3日間で京都に行って参りました。真夏の京都は、東京の暑さとも違ってとても蒸し暑かったですが、3回目にしてようやく、京都の有名所を制覇した感じです。今回は寺社巡りに加えて、市内にある4カ所の伝建地区を見てまわってきました。茶屋町、社家町、門前町とそれぞれに特徴があり、どれも京都らしさを感じさせるもので、さすがの一言。中でも印象に残っているのは、産寧坂。地区のはずれにある大雲院の祇園閣は伊東忠太の設計で異彩を放っているものを見るものを引きつける魅力がありました。



伝建をめぐる旅

M1 西川亮

8月中旬も過ぎた頃、伝建地区を青春18切符で巡る旅をしてきました。行き先はデザ研なら誰もが知る長野県妻籠、東海道では唯一の伝建である三重県関宿、茅葺き屋根が特徴的な京都府美山町です。旅に出て、のんびりカメラ片手に過ごそうと思っていたはずなのに、どうしても「この路面舗装がいいなあ」とか「ここ空き家かな」などと考えてしまう自分がいました。それでも3つの異なる種類の伝建地区を見歩いて感じたことを足助PJや鞆PJなどで活かしていければ、と思います。



編集後記

txt_nakashima

夏休みがもう少し終わろうとしています。バイトにプロジェクトにゲリラ豪雨に…本当に忙しい夏でした。忙しかった、で終わらせないためにもこれから頑張ろうと思います。補足ですが82号で取り上げてもらったM1有志で提出したコンペ、残念ながら落選でした。今度反省会という名の飲み会をするつもりです。

都市デザイン研究室 7月前半の予定

- 10月9・10日 高山八幡祭
- 10月9日 研究室会議
- 10月21日 研究室会議